

### 第一回 慶縁の集いの「報告

去る二月二十七日午後六時半より、日ごろ当院にご協力を賜わっている方々二十名にお集まりいただき、慶縁の集いを開催しました。年齢・職種・男女の枠を超え、「ご参加の皆さんが一堂に会話される姿が非常に印象的でした。また、岡崎別院雅楽会による雅楽の披露があり、雅びな響きに魅了されました。今後とも、このような人の和が広がることを願っています。



岡崎別院雅楽会による演奏

### 京都教区子ども御遠忌 お待ち受け法要の「報告

三月二十六日、京都教区主催により子ども御遠忌お待ち受け法要が厳修されました。京都教区内の九歳から十五歳の子供たちによる法要に、参詣の皆様も感心していました。



みんなで記念撮影

### 山城第一、二組 お待ち受け法要のご案内

山城第1・2組  
宗祖親鸞聖人750回御遠忌お待ち受け法要

落語・笑福亭仁智  
合唱・仏教讃歌をうたう会

於：岡崎別院  
2010年4月25日(日)  
13:00~16:00

お問い合わせ先  
山城第1・2組お待ち受け法要委員会  
兼良寺 野原 孝  
電話 075-561-6721 FAX 075-561-6761

四月二十五日(日)午後一時から四時、京都教区山城第一、二組主催による宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌お待ち受け法要が当別院において勤まります。法要の他に笑福亭仁智さんの落語や、仏教讃歌をうたう会による合唱が行われます。有縁の方々のご参詣をお待ちしております。

## 鏡池だより

第3号  
平成22年  
(2010年)  
4月・5月  
・6月号  
発行：編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大

### 〓宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌に念う〓 〓ひとえに往生極楽のみちをといきかん〓

はるばる関東から訪問したご門弟に「あなたがここにこうして来られたのは、ひとえに往生極楽のみちをといきかんがためです」と、訪問を受けた宗祖親鸞聖人が、訪問したご門弟に言われたということである。

訪問した方が、訪問を受けた方から「あなたはこのような理由で来られたのですよ」と言われたわけである。私の日常からは到底考えられないことであるが、当時の関東のご門弟にしてみれば、まさに宗祖親鸞聖人から言い当てられたことが大きな驚きで、絶句されたに違いない。そのことは、自らが京都の宗祖のところまで来ずにいられない、問わずにいられない、そのことに突き動かされて来ている、そのことを親鸞聖人から言い当てられた驚きでもあったに違いない。

義務感にあおられて生きる私にとって、明年にお迎えする宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌は、逆に親鸞聖人から「お前は何しにここに来たのか、一体お前が本当にせずにおれないこととは何なのか」と問われる御遠忌であるように念われてならない。

### 分陀利華

〓出遇い〓

遇うは別れのはじめ

とはいっけれど

果たして今、私は、

本当に出遇っているといえるのか

四月に入り入学・入社など新たな出遇いを迎えられる方も大勢おられることだろう。嫌味な上司や性格の合わない同僚など都合に合った出遇いばかりではなく、もっと言えば意に添わない出遇いばかりかもしれない。しかしながら一回の出遇いが自分の生涯を変えてしまつ、そんな出遇いもある。

親子と名告り、夫婦と名告り、毎日顔を突き合わせて生活を共にしていても、自分の思い込みの相手としか出遇っていない私。そんな私の現実を宗祖は無眼人、無耳人と言われ、蓮如上人は無明業障のおそろしき病と言われたのではなからうか。

ひとをあれこれと批判する中で「自分はどうかだろうか」と、ひとの批判によって自らのあり方が照らされることとの出遇いが、本当の意味でひとと出遇つということではないか。

ひとを通して自分自身と出遇う。そこに本当の意味での出遇いというものはなからうか。



# 梅香記

## 庭園の整備計画案



親鸞聖人七五〇回御遠忌を迎えるに当たって、御参拝の皆様方に散策していただけるよう、庭園の整備計画を進めています。散策道を設け、降雨時にもぬかるみが出来にくくなるよう砂利を敷き、池の周りには転落防止のための柵を設置し、紫陽花などの花壇を作って見て楽しめる綺麗な庭園造りを目指しています。また、落ち葉の苦情や枝の落下の危険性のある近隣に越境した樹木の伐採をいたします。今後も本堂裏側の庭園整備を予定しています。



必度橋と庭園の風景



北側の幼稚園に越境した樹木

## 境内の整備計画案



御遠忌に向けて多くの参詣者に御来院いただくために、別院山門の横に所在明記の看板と、教化事業の一環として掲示板を設置します。またお車で御来院いただく参詣者のために、大谷専修学院の入り口にも看板と反射鏡を設置します。他にも、鏡池の水が枯れるのを防ぐための池底の補修や周辺樹木の伐採、寺務所前の不要木の撤去、生垣の植栽などを行います。



鏡池



山門

## 法座のご案内

### 〓 定例法座

- 講師 岡崎別院輪番
- 4月13日 9時半 味読「正信偈」 11時 雑炊の集い
  - 5月13日 9時半 味読「正信偈」 11時 雑炊の集い
  - 6月13日 9時半 味読「正信偈」 11時 雑炊の集い
- (今年度より来年の3月まで、3日・23日の法座はお休みとさせていただきます。)
- 〓 宗祖親鸞聖人の御生涯に学ぶ
- 講師 大谷大学教授 一楽 眞師
- 1回目 4月19日(月) 14時 16時
  - 2回目 6月21日(月) 14時 16時
  - 3回目 8月30日(月) 14時 16時
  - 4回目 10月25日(月) 14時 16時
  - 5回目 12月20日(月) 14時 16時

## 別院往来

### 〓 御結婚式

2月7日 新郎 倉橋紀之 新婦 久世貴子



倉橋様・久世様 記念植樹

3月21日 新郎 小野芳人 新婦 八島さやか



小野様・八島様 式杯

今年に入り、2組の方が別院にて仏前結婚式を挙げられました。今後も5組の結婚式の予定が入っています。心よりお祝い申し上げます。

## ここにこの人

### 涅槃する

三日講員 金子 宏氏

第三錦林の級友、杉原君のお陰で三日講の仲間に入れていただき、岡崎別院の皆様との御縁をいただいたことまことにありがたいことでございます。

四年生するとき、杉原君たちと別れて広島に移住することになったのですが、当時のことを思うにつけても今ここに再会できたことは不思議なことでもあります。

広島で初めて見る海に驚きと喜びで一杯でした。その楽しみの一つは潮干狩、ある日、思いがけない大漁に大喜びで帰ったところ、父に「無益な殺生をするとはもっての外」と叱りつけられました。八十年近くたった今も忘れられぬ思い出です。そんな思い出にひたりながら「鏡池だより」を拝見しますと、別院で「薪ストーブ」を設置され、庭園で剪定された樹木で暖をとっておられるとのこと、文字通り「身も心も暖まる」心地がいたします。父ならば「残木は涅槃したね」と申したことでしょう。いわゆる「豊かな時代」に消え去られようとしている大切な灯が、岡崎別院に相続され、やがて本当に「豊かな世」になる日を念じております。

(\*文中の父とは、金子大栄師のことである)